

デザイン・ニーズの多様化に対応する設備導入に伴う NOと言わない技術力の底上げ



実施事業の概要と成果

近頃の傾向として、曲線を用いたデザインが多く、それを既存の作業工程で実施するとどうしても生産効率の悪化という課題があり、新設備を導入。上記作業は従来テンプレートの作成を強いられ、それをもとに作業を進めていたため、どうしても工程数も多く、作業時間も長かった。今回の機械導入、作業検証で工程数の削減と作業時間の短縮が証明され、生産性が大きく向上した。

導入前の課題

当時は学校などの建設が多く、曲線が多用されたデザイン性が高い受注が多かった。それらは高度な技術を持った熟練の技術が必要とされた。大量生産に対応するつもりではないが、生産性の向上、熟練の技術の承継、工場全体の技術力の底上げ、作業の均一化が課題となっている。他社との競争や差別化を図るため、工程の一部を自動化し、生産効率を上げるとともに、加工品質の安定化を図り・技術の均一化を図る必要があった。

取り組みと成果

導入した設備では、これまでにはなかったコンピュータによるデータの製造が可能となった。製造リードタイムが約 80%の時間短縮、加工精度として 0.1mm 単位の高精度の加工が可能となり、生産効率や品質の向上が確認できた。また、工程や人員配置、加工方法などを変更し、約 70%程度の生産効率の向上が見込めるようになった。これにより、生産量の増加や高技術の加工依頼を断らない受注体制を確立できた。また、技術承継のため雇用体制も強化することができた。



導入した NC ルーターで木材をカットする様子



同規格で大量生産した椅子



販促品として製造した名刺入れ



工場の外観

補助事業後の展開

今回の設備導入では、これまで断っていた難易度の高い加工が、建築データをもとにした設計を忠実に再現できるため、既存顧客からの依頼に対応が可能となる。また店舗からの什器や看板、家具などの個性的なデザイン性の高い需要にも対応でき、個別受注で高単価な製品の受注は収益性に寄与できる。デザイン性が高い依頼でも量産などの受注が可能であるため、多様なニーズに対応し、受注機会の増加に対応していきたい。

With コロナ、After コロナにおける取組

コロナ禍で受注が大幅に減少していたが、今年採用した新入社員の取り組みで販促品としての名刺入れなどの小物類の製造、SNS を活用し、自社技術を発信することで新たな受注に繋がっている。この取り組みを既存事業との相乗効果として取り組んでいきたい。



代表取締役 我那覇宗彦

会社概要

事業者名: 株式会社ムネ木工所

代表者: 代表取締役 我那覇 宗彦

住所: 沖縄県名護市為又1219-278

資本金: 100万円

従業員数: 7人

電話番号: 0980-54-3425

FAX 番号: 0980-54-3425

設立年月日: 平成11年11月1日

業種: 家具・装備品製造業

URL: <https://www.munemoku.com/>

